

令和 8 年度第 1 回恵那市総合教育会議

日時 令和 8 年 8 月 24 日（月）

午後 1 時 30 分～

場所 恵那市役所 西庁舎 4 A 会議室

1. あいさつ（市長・教育長）

2. 議題

①いじめ・不登校の現状と取組について 【別紙 1】

②特別支援教育の現状と取組について 【別紙 2】

令和8年度第1回恵那市総合教育会議名簿

役 職	氏 名	備 考
市長	小坂 喬峰	
教育長	岡田 庄二	
教育委員（職務代理者）	西尾 修欣	
教育委員	小栗 秀子	
教育委員	樋田 東洋	
教育委員	村松 訓子	

まちづくり企画部

まちづくり企画部次長	沼田 武利	
企画課長	瀬瀬 高裕	

教育委員会事務局

副教育長	伊藤 政之	
教育委員会事務局長	西尾 功	
教育総務課長	瀬瀬 千尋	
学校教育課長	各務 義臣	
学校教育課主幹	遠山 意保子	
教育総務課係長	志津 博光	
学校教育課担当係長	堀内 賢司	

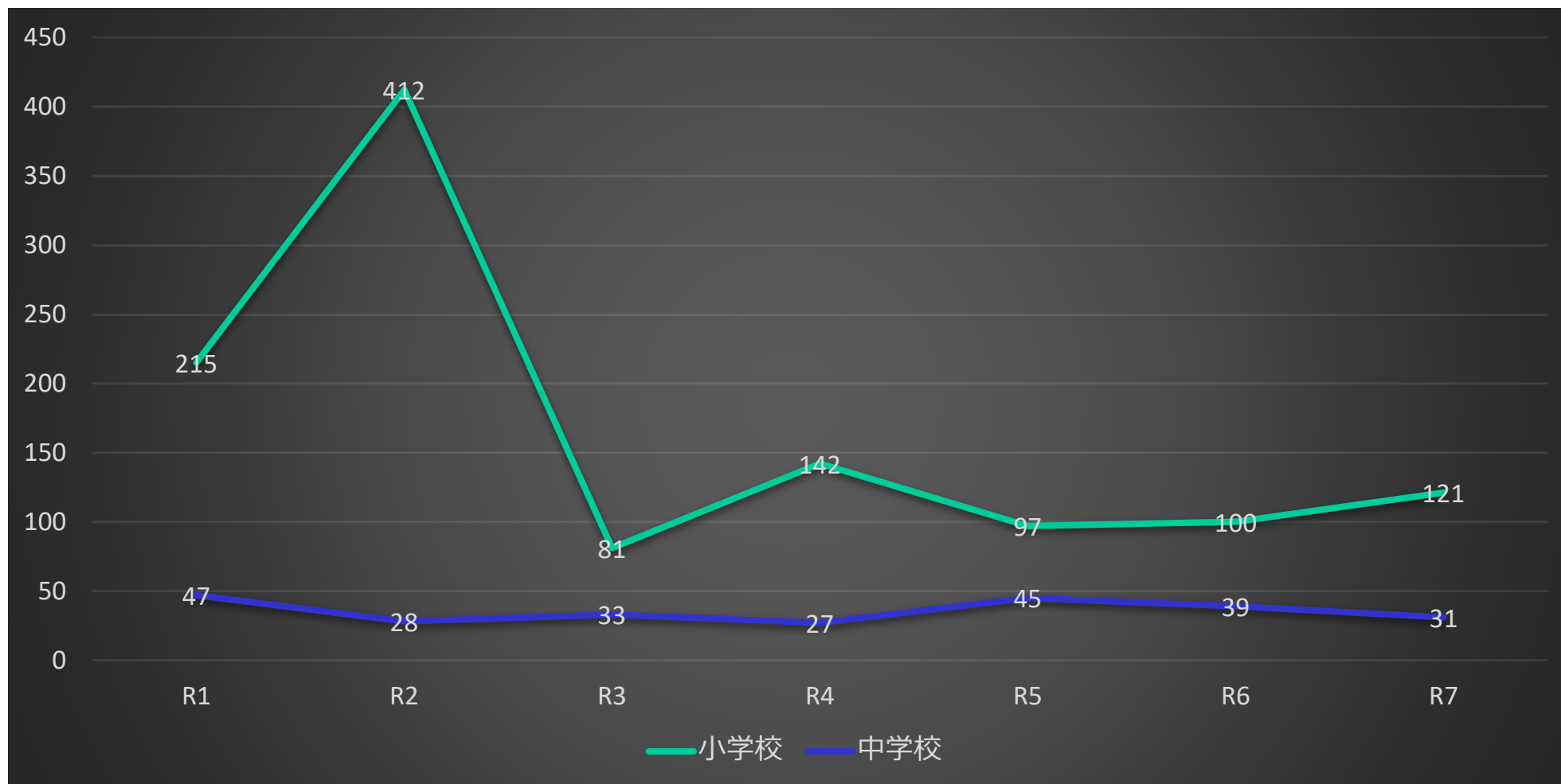
恵那市内小・中学校における いじめ・不登校の 現状と取組について

令和8年8月24日(月)

恵那市教育委員会学校教育課

いじめの現状

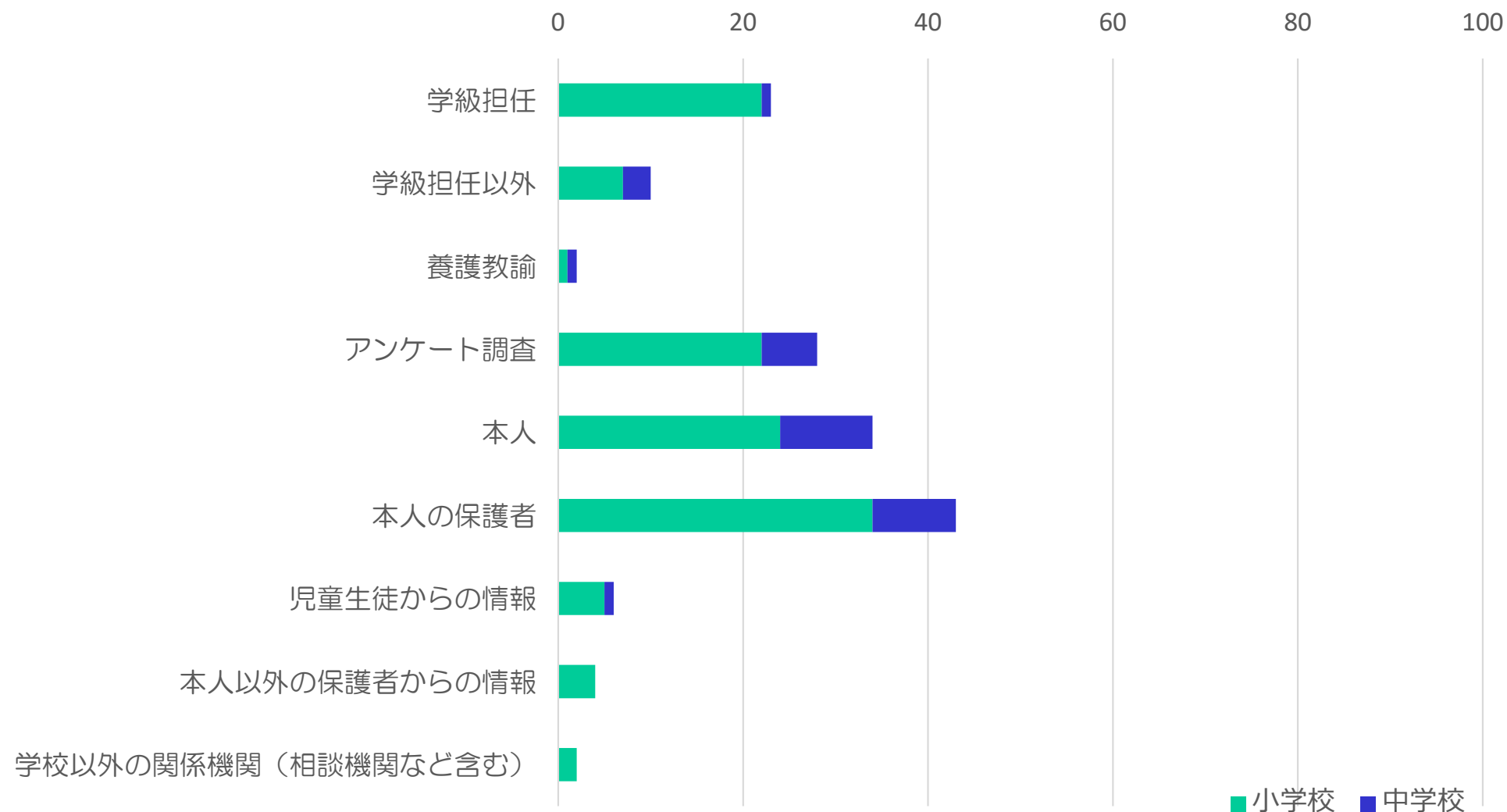
いじめ認知件数の推移



※いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義は、一定の人的関係にある他の児童等が行う、心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む）を受けたことにより、心身の苦痛を感じているもの。

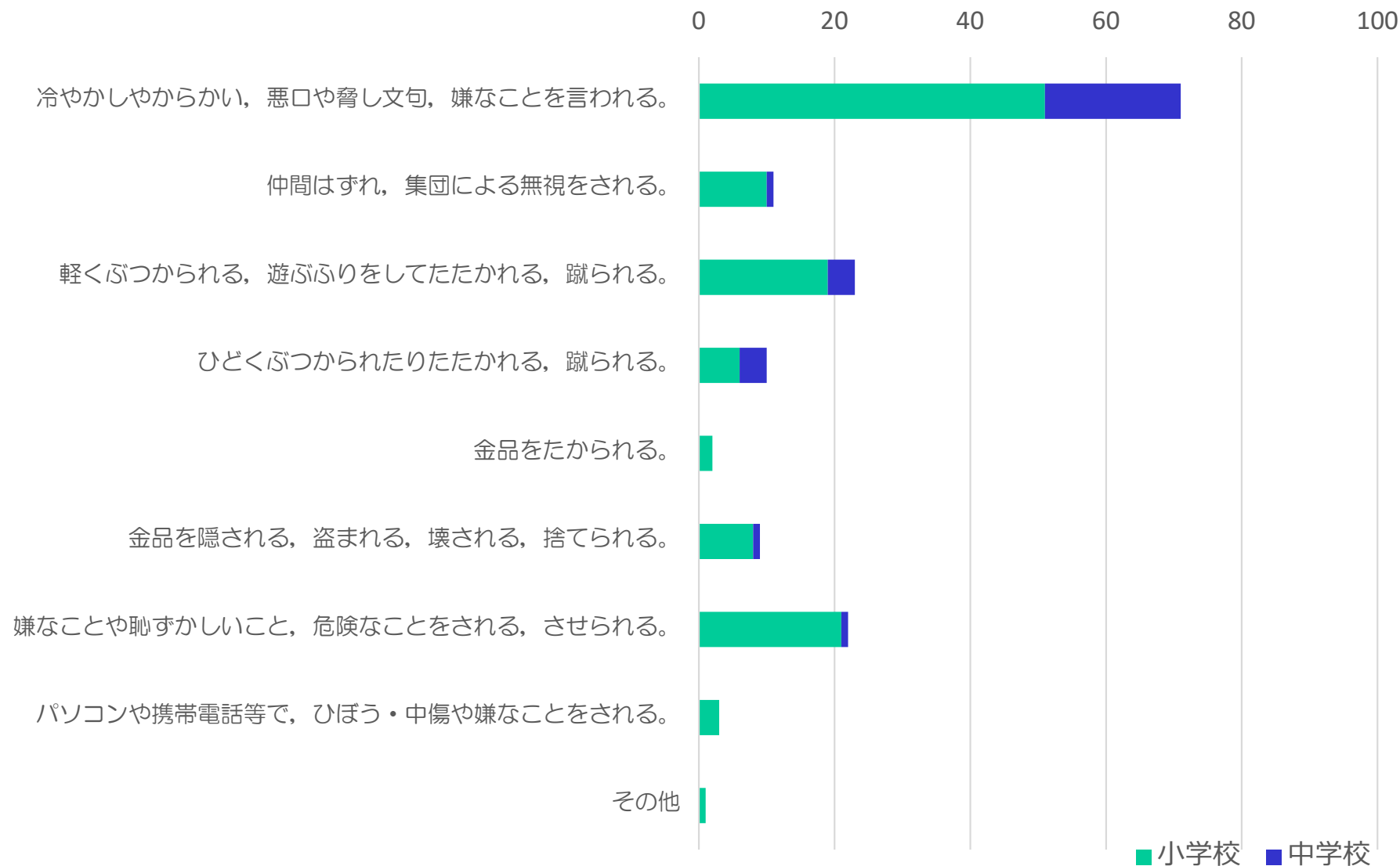
いじめの内容①

発見のきっかけ（令和7年度）



いじめの内容②

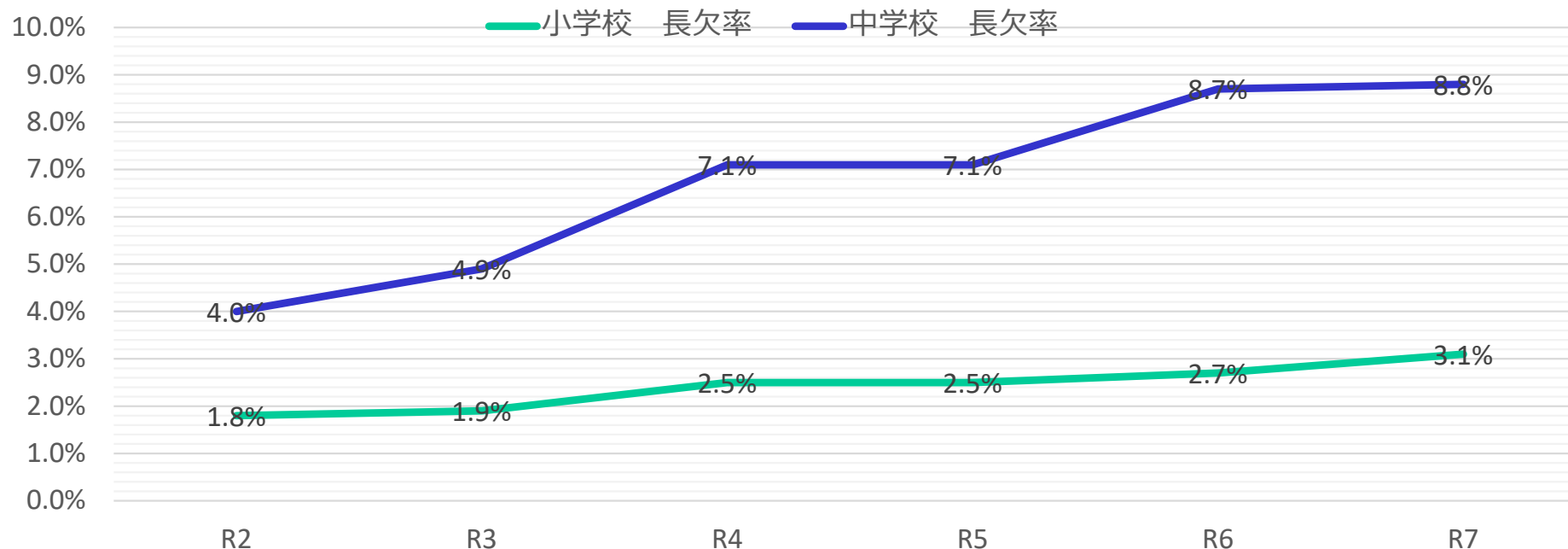
様態（令和7年度）



不登校の現状

不登校児童生徒

※不登校（病気、ケガ、経済的な理由を除く、年間30日以上欠席の児童生徒人数）



◎ 学校内外にて相談等の実施は 100%

※R7 年間90日以上の不登校児童生徒数

…小：6人 中：22人

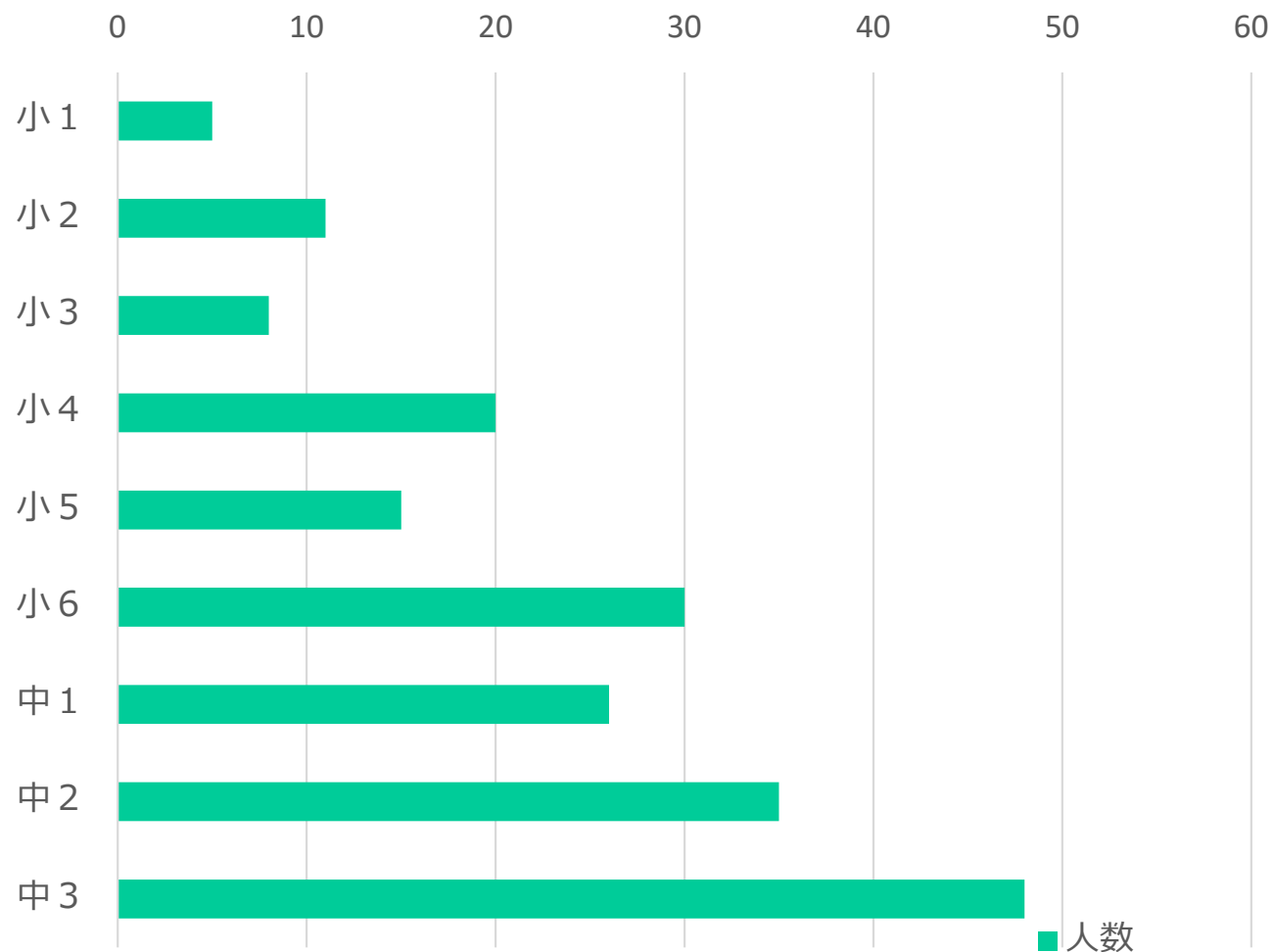
※R7 年間出席日数10日以下の児童生徒数

…小：6人 中：7人

学年別不登校人数

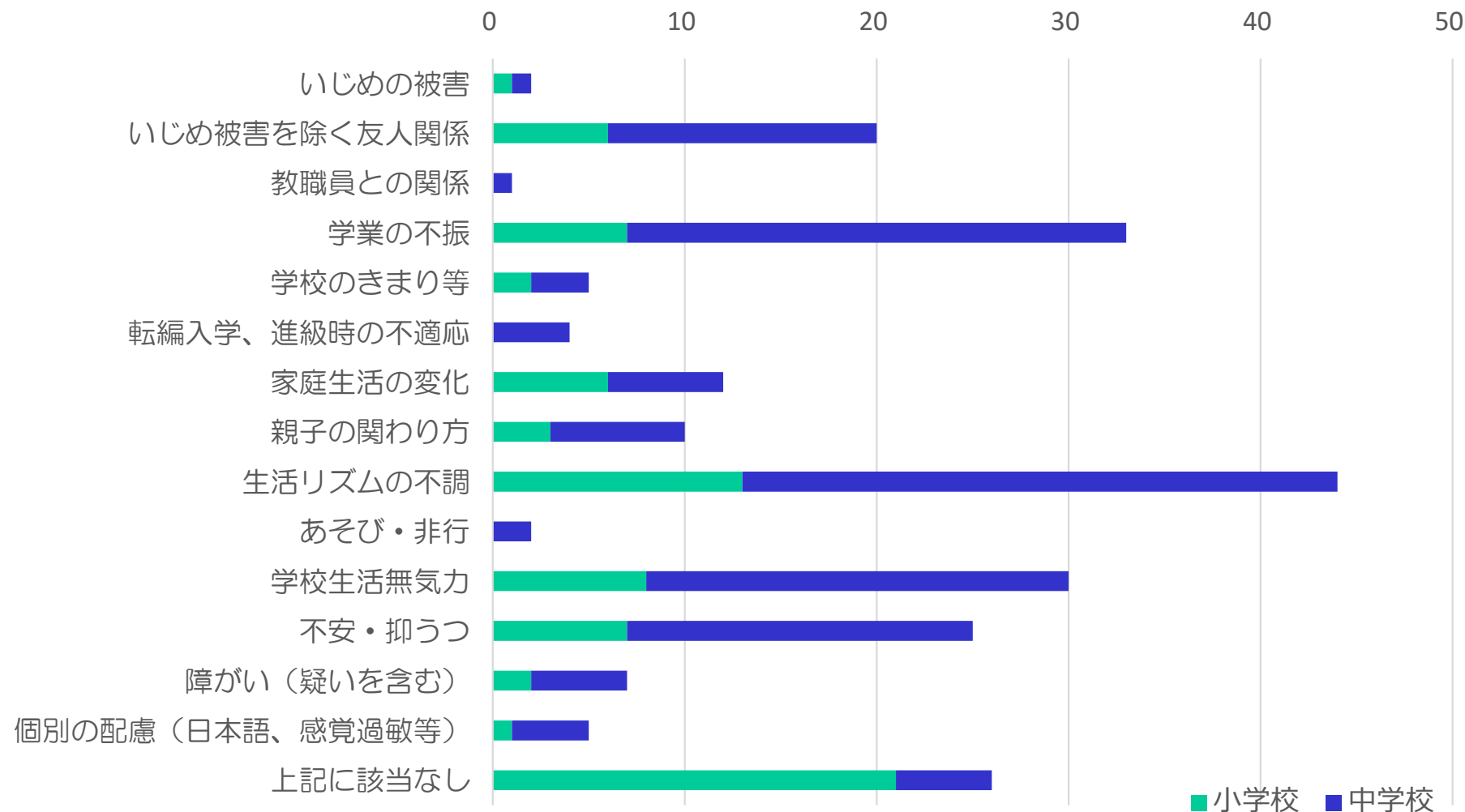
(令和7年度)

※不登校
病気、ケガ、経済的な理由を除く、年間30日以上欠席の児童生徒人数



不登校の内容

不登校の原因（令和7年度）



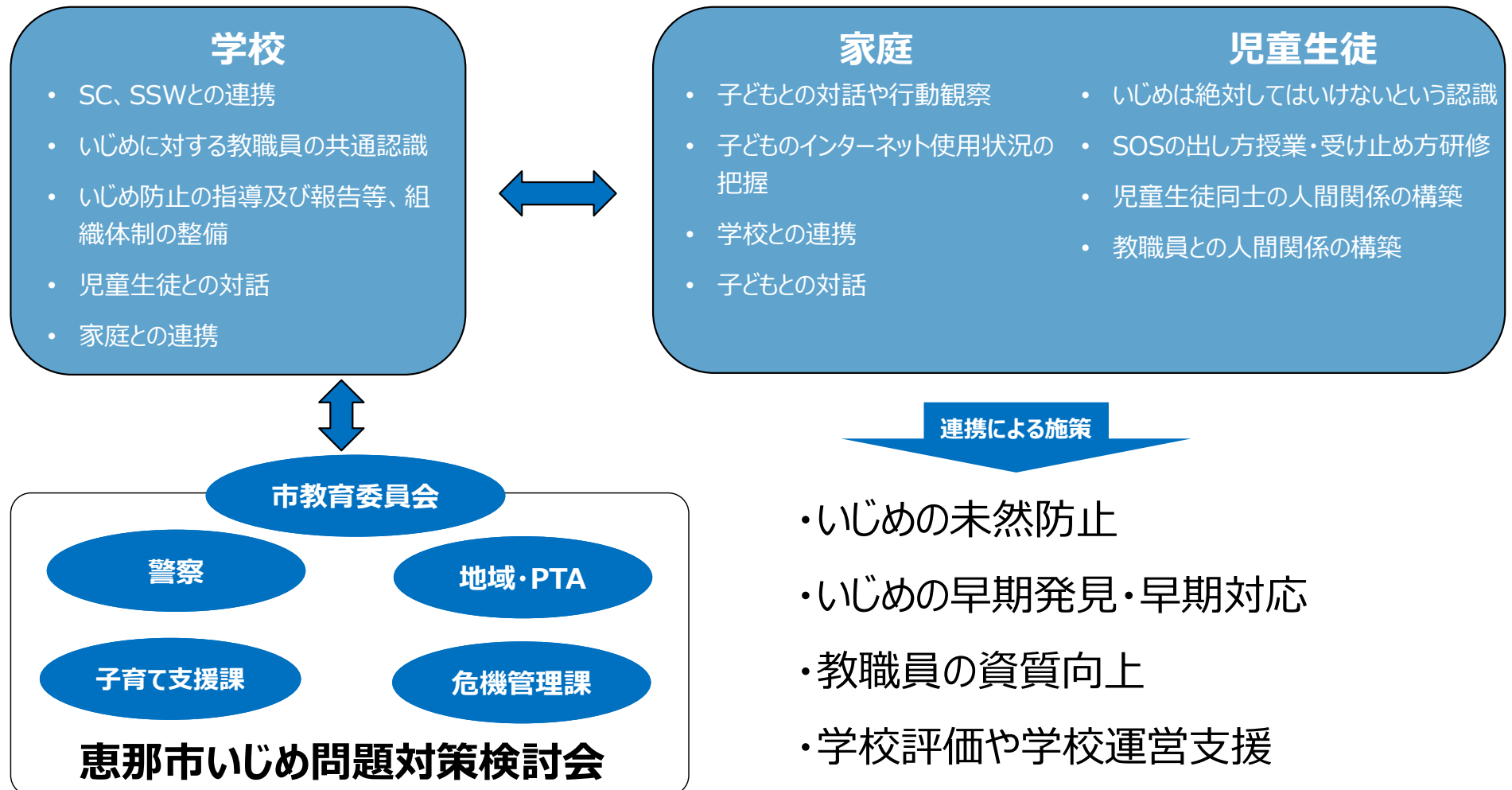
令和 8 年度は、

- いじめの見逃し 0
 - 認知したいじめの解消 1 0 0 %
 - 誰かに相談をした割合 1 0 0 %
 - 不登校児童生徒の保護者支援
 - sosの出し方・受け止め方の充実
-

いじめへの取組 1

防止等に向けた施策

・関係機関等と連携した体制の整備



いじめへの取組 2 （各種調査）

- ・ 国…生徒指導上の問題行動調査
- ・ 県…第 1 回岐阜県いじめ問題調査（7 月）
第 2 回岐阜県いじめ問題調査（12 月）
第 3 回追跡調査（3 月）
- ・ 市…問題行動調査 ※毎月
いじめ月別調査（追跡調査）
長期欠席調査（月 7 日間以上欠席児童生徒）
7 日間連続欠席調査

いじめへの取組 3

(スクールライフノート・SOSの出し方授業・SOSの受け止め方研修)



声かけ

先生

今朝はどんな気持ちかな？

体調と一緒に、天気で気持ちを表してみよう。



児童生徒

朝の「心の天気」と健康観察を入力

登校したら、まずはスクールライフノートへ今の気持ちと今朝の検温結果を入力。自分の状況を客観視します。

天気で気持ちを表現



検温結果を入力

体温: 35.6℃
 心拍数: 60回/分
 血圧: 110/70mmHg
 呼吸数: 12回/分

朝の「心の天気」と健康観察を入力

検温結果を入力

相談ボックス

悩みごとの相談ができます。

相談する

井口 麻里さんへのお知らせ

1. 良い例

ロールプレいのセリフ例 (5人分)

A 悩んでいる人	B 聞く人	C パンをかいて人	D アイデアを出す人	E つなぐ人
① あいちゃん、学校へ行くのがつらくて・・・	① そうか、つらいよね。よく話をしてくれたね。	① なんかあったのかな？ 悪いじゃないか？	① つらいことがあったんだね。どうしたらいいかな？	① それは、大変だね。一人で悩まない方がいいかも。
② 別にかな。おなかがいたくなっちゃうんだ。	② そうか。それはしんどいね。	② 誰かの人に話をしたの？ 相談した？	② 誰かの人に話をしたの？ 相談した？	② 誰かの人に話をしたの？ 相談した？
③ みんなは楽しそうなのに自分だけダメな気がして、	③ そんなふうに思っちゃうんだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。
④ もう、どうしようもないわ。おなか、どうしようもないわ。	④ やれやれしんどいね。どうしようもないわ。	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？
⑤ なんか、どうしようもないわ。おなか、どうしようもないわ。	⑤ やれやれしんどいね。どうしようもないわ。	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？

2. 良くない例

ロールプレいのセリフ例 (よくない例) (5人分)

A 悩んでいる人	B 聞く人	C パンをかいて人	D アイデアを出す人	E つなぐ人
① あいちゃん、学校へ行くのがつらくて・・・	① えー、そーなの？ やめてみるかい？	① 誰かの人に話をしたの？ 「アイト、一歩」	① そうなの？ 自分だけかな？ 聞いてみるかい？	① 誰かの人に話をしたの？ 聞いてみるかい？
② 別にかな。おなかがいたくなっちゃうんだ。	② 別にしんどい。別にしんどい。	② 誰かの人に話をしたの？ 聞いてみるかい？	② 誰かの人に話をしたの？ 聞いてみるかい？	② 誰かの人に話をしたの？ 聞いてみるかい？
③ みんなは楽しそうなのに自分だけダメな気がして、	③ そんなふうに思っちゃうんだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。	③ なんかつらいことがあったみたいだね。
④ もう、どうしようもないわ。おなか、どうしようもないわ。	④ やれやれしんどいね。どうしようもないわ。	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	④ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？
⑤ なんか、どうしようもないわ。おなか、どうしようもないわ。	⑤ やれやれしんどいね。どうしようもないわ。	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？	⑤ もう少し詳しく話して聞かせてもらってもいい？

不登校への取組 1 （校内教育支援センター）

校内教育支援センターの充実に向けた取組（各中学校）

- ・教育相談強化のための心の教室相談員配置による相談体制の整備
- ・学業不振をサポートするための学習支援員の配置
- ・安心して学べるための環境整備



市内中学校
校内教育支援センターの様子

不登校への取組 1－2（校内教育支援センター）

校内教育支援センターの利用者数と成果

学校	R6年度	R7年度	R8年度 (6月)	中学校の事例：全教職員で支える
A	6	7	6	・教員の時間割に支援の時間を組み込む ・立ち寄った教員が声をかけ、授業も実施 ・毎週のケース会議と保護者への情報共有
B	9	13	15	
C	4	4	1	成果（令和7年度） ・センターなら登校できる生徒 6人 ・教室へ復帰した生徒 7人 ※保護者「自分から行ってくれるようになった」
D	7	3	11	
合計	26	25	33	校内の居場所づくりが不登校の改善につながる

不登校への取組 2（市教育支援センター）

子どもの居場所としての教育支援

※教育支援室の在り方

これまでの学校復帰を図ることだけが目的ではなく、自信や自尊感情を持つこと、社会的参加、対人関係の改善を図る。

目的

- ・児童生徒の心の休養を促し、安心して過ごせる配慮。



教育支援室
(はなのき・むつみ)

生活

- ・個別に計画を作成し、目標達成状況がわかる支援。

・スタッフ5名

・月～金、9時～17時

相談

- ・安心して相談できる環境の整備。
- ・丁寧な相談対応により心身の安定を図る。

(参考) 利用者数・・・見学体験を含む

適応支援

- ・社会性等を身に付けるための体験学習。

連携

- ・学校、関係機関と連携。

年度	不登校児童生徒数		合計	教育支援室		割合
	小学校	中学校		小学校	中学校	
R4	59	92	151	8	10	10.9%
R5	56	87	143	7	11	11.9%
R6	60	105	165	12	10	12.5%
R7	89	109	198	8	10	9.1%

不登校への取組 2－2 （市教育発達支援センター）

あおばによる教育相談

相談体制

※教育支援室の在り方

教育相談員を配置し体制を強化。他機関との連携によるアウトリーチの実施により、不登校の長期化によるひきこもり対策と重層的支援を行う。

目的

- ・教育相談体制の強化。（専門員と場所の確保） ➡ **教育支援室**の充実

相談

- ・主に長期欠席による引きこもり傾向の児童生徒の相談、面談
- ・**学校訪問による定期的な相談の実施**
- ・学校とのつながりがうまく取れなくなってしまった児童生徒その保護者、家庭への支援

連携

- ・学校、教育支援室、教育・発達相談室あおば、子育て支援課、社会福祉課、その他関係機関と連携



不登校への取組 3 （他機関との連携 1）

フリースクール等に通う児童生徒数

フリースクール等	恵那市参加人数	備考
A 市内 (週 3 日)	2	小学生 3 ・ 5
B 市内 (週 1 日程度 + α)	2	小学生 1 ・ 5
C 近隣市 (週 4 日)	3	小学生 1 ・ 5 ・ 6
D 名古屋市 (複数コース)	1	中学生 1
合計	8	小学生 7 中学生 1

不登校への取組 4 (他機関との連携 1)

フリースクール等の様子

ひふみ学園

ほあかりの森

不登校で悩む保護者の皆様へ

学校に行かない…どうしよう

「とにかく、子どもの悲境を」とフリースクールに興味を持たれた方もいらっしゃると思います。ひふみ学園は、子どもたちが安心して自分らしく居られる場です。

まずは、心と身体を整えて。それから、学校や学園へ気持ち向くかもしれません。スタッフも仲間たちも、ひとりひとりのペースを尊重します。

「学校」のイメージを一変させる

- ・先生と呼ばず、ニックネームで呼ぶ
- ・曲に関する以外、指示・命令・禁止をしない
- ・スマホを没収、デジタル機器の持ち込みOK

学校に行かない子どもたちの中には、心に悲しみや不安を抱えている場合があります。子どもの心に寄り添い、学園が「毎日行きたくなる楽しい場所」であるために、学校のイメージを変えるところからはじめています。

毎日、幸せな1日であるように

未来を生きる子どもたちへ
あなたの力を

地球で遊ぶ。遊ぶために学ぶ。
ひふみ学園

あなたの街の
フリースクール

支援・応援をよろしくお願いします

- 資金支援
寄付・継続的なサポートで学園を支えてください。食材の差し入れも歓迎です！
- 技術・スキルの提供
プログラミング、アート、農業など、子どもたちの学びに役立つ技量を教えてください。
- 高校生、大学生インターン
イベントや日々の見まもり、学習サポートにご参加ください。

ひふみ学園 509-7403
岐阜県恵那市岩村町218
info@123-coach.com
お気軽にお問い合わせください

詳しくはホームページをご覧ください
<https://123-school.co.jp>



「ほあかりの森」について

「ほあかりの森」は、子どもと大人が自然や日々の営みの中で共に学び、成長し循環する暮らしの場を目指します。ここは、子どもとスタッフ、そして関わる大人たちが一緒に創っていく場所です。

○場所
恵那市明智町1551-72

○対象年齢
小学校1年生～中学校3年生

○お問い合わせ
TEL:080-5102-2287 (赤塚)
Mail: hoakari.328@gmail.com
※詳しい場所や費用、活動日などはお気軽にお問い合わせください。

OSNS
Instagram
@hoakari_no_mori

○代表 赤塚 真(ろっしー)

公立小中学校で12年勤務。(教科は技術科) 森のようちえんスタッフ、えなプレーパークのプレーリーダー、ほあかり養蜂園代表。教育と自然をテーマに遊び場をつくっている。「自然の中で子どもたちとともに学び合う」をモットーに日々実践中。



森の学び舎
ほあかりの森



不登校への取組 5 （他機関との連携 2）

文部科学省等事業について→恵那市も各学校で対応

COCOLOプラン（誰一人取り残されない学びの保障）

- 1 心の小さなSOSの早期発見（アンケートや心の天気）
→一人一台端末「心の天気」や月に一度のアンケート
- 2 学校の風土の「見える化」
→学校評価の仕組みを活用
- 3 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置
→全ての恵那市小中学校に配置
- 4 教育支援体制整備事業（学習支援員の配置）
→小中合わせて44人

不登校の取組 5 （他機関との連携 2）

県教育委員会事業の活用

SSW

（スクールソーシャルワーカー）

・恵那東中学校

**いじめ不登校未然防止
アドバイザー**

・大井小学校

**スペシャリスト
サポート事業**
※必要に応じて

スクールカウンセラー、スクール相談員

専門家の見立て

教員へのアドバイス

『魅力ある学校づくり』

教職員 管理職の指導のもと

教育相談コーディネーター、生徒指導主事、養護教諭
心の教室相談員等と学級担任の連携

成果（○）と課題（●）

- 個々の実態に応じた対応
- 関係機関との連携
- 家から出られない児童生徒へのアプローチ
- 保護者支援

今後に向けて

校内と校外の「両輪」で、すべての子に居場所をつくる

校内教育支援センター

すべての小中学校に設置する
心の教室相談員も全校に配置する
小学校から居場所をつくり、不登校を防ぐ

校外教育支援センター（はなのき・むつみ）

職員を増員する
家から出られない子へ訪問で支援する
社会とつながる場を広げる

【新たな取組】保護者同士が気軽に話せる場づくり
今年度は年2回（6月・11月）→ 今後は学期ごとに3回へ拡充

恵那市内の小・中学校における 特別支援教育の現状と取組について

恵那市教育委員会
学校教育課

- 1 特別支援教育の現状
- 2 学校教育課で行っている取組
- 3 関係機関等との連携
- 4 今後に向けて

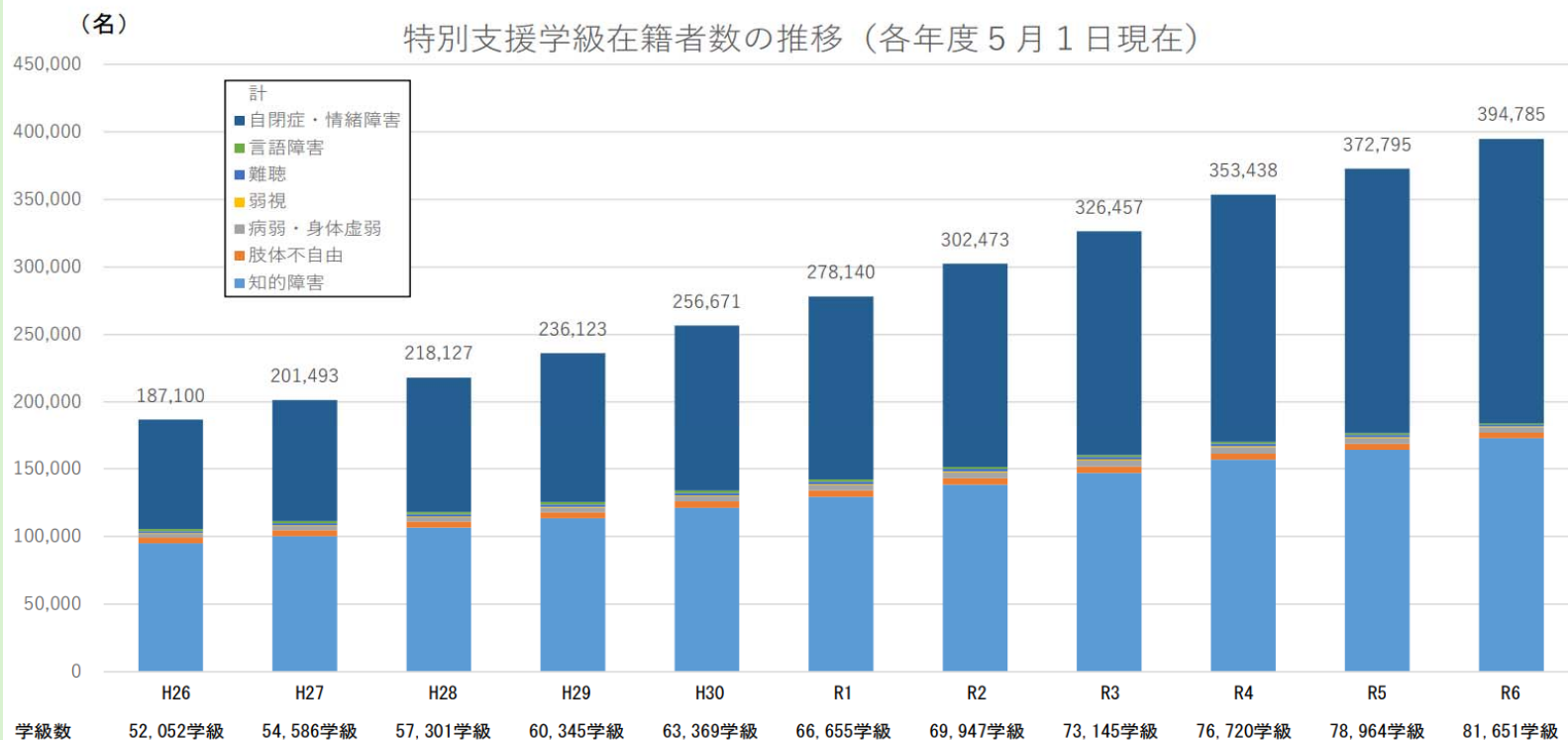
1 特別支援教育の現状

2 学校教育課で行っている取組

3 関係機関等との連携

4 今後に向けて

特別支援学級の児童生徒数・学級数



【令和6年度の状況】

	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・情緒障害	計
学級数	34,297	3,024	2,800	501	1,310	603	39,116	81,651
在籍者数	172,519	4,189	3,978	553	1,777	1,062	210,707	394,785

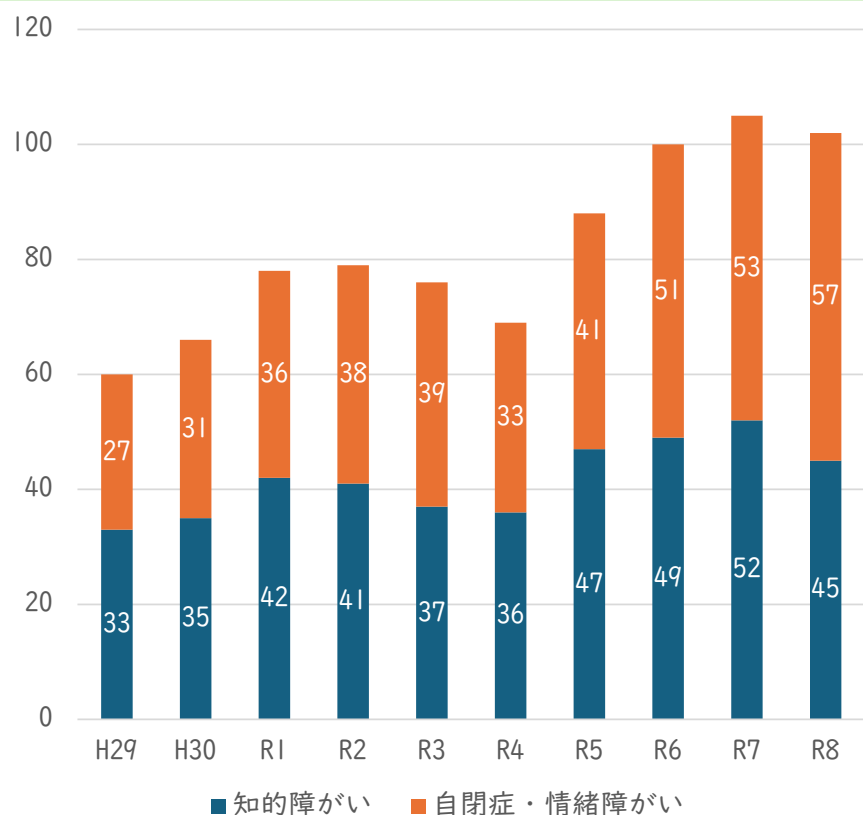
(出典)学校基本調査

8

中央教育審議会教員養成部会・特別支援教育作業部会（第I回）資料8「特別支援教育の現状に関する基礎資料」より

特別支援学級在籍児童数

小学校



【令和8年度】

○ 知的障がい

45人 10学級

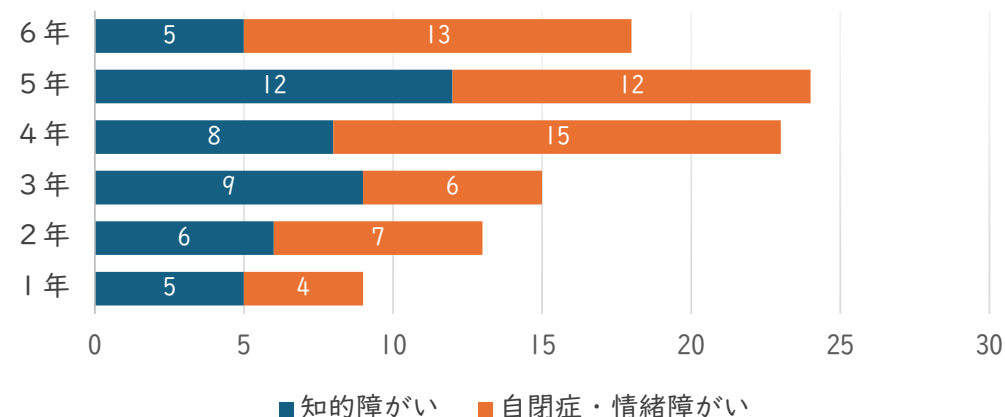
1学級平均 4.50人

○ 自閉症・情緒障がい

57人 13学級

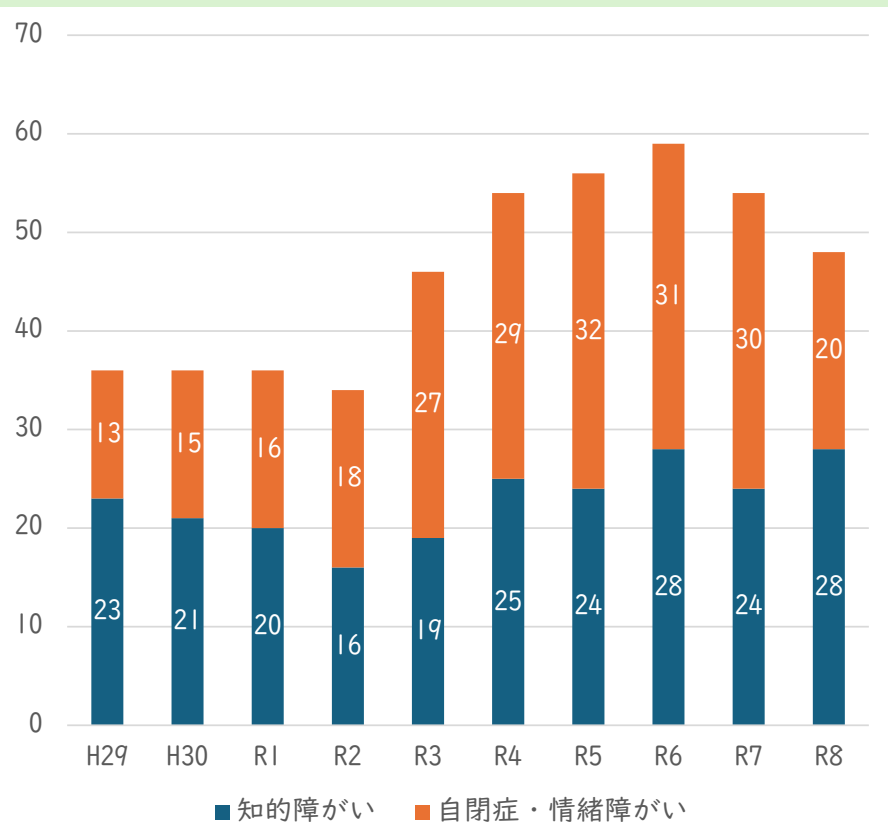
1学級平均 4.38人

1学級の人数 ／障がい種	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人
知的学級	1	0	2	1	2	4	0	0
自・情学級	1	2	0	1	6	3	0	0



特別支援学級在籍生徒数

中学校



【令和8年度】

○ 知的障がい

28人 5学級

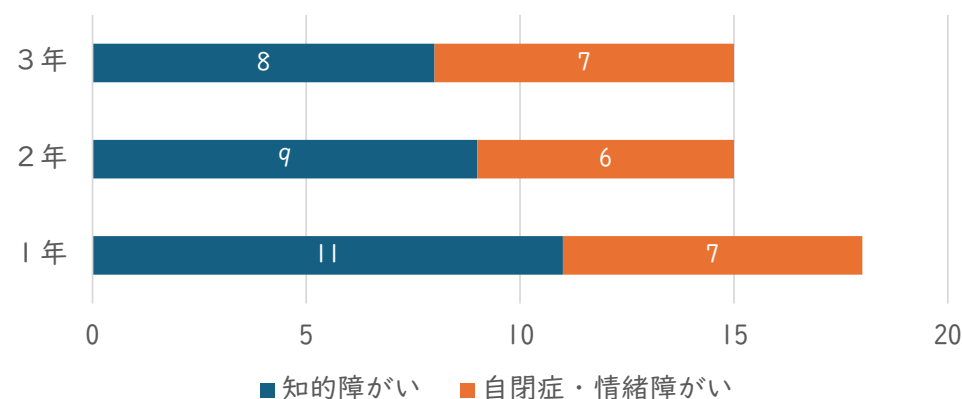
1学級平均 5.60人

○ 自閉症・情緒障がい

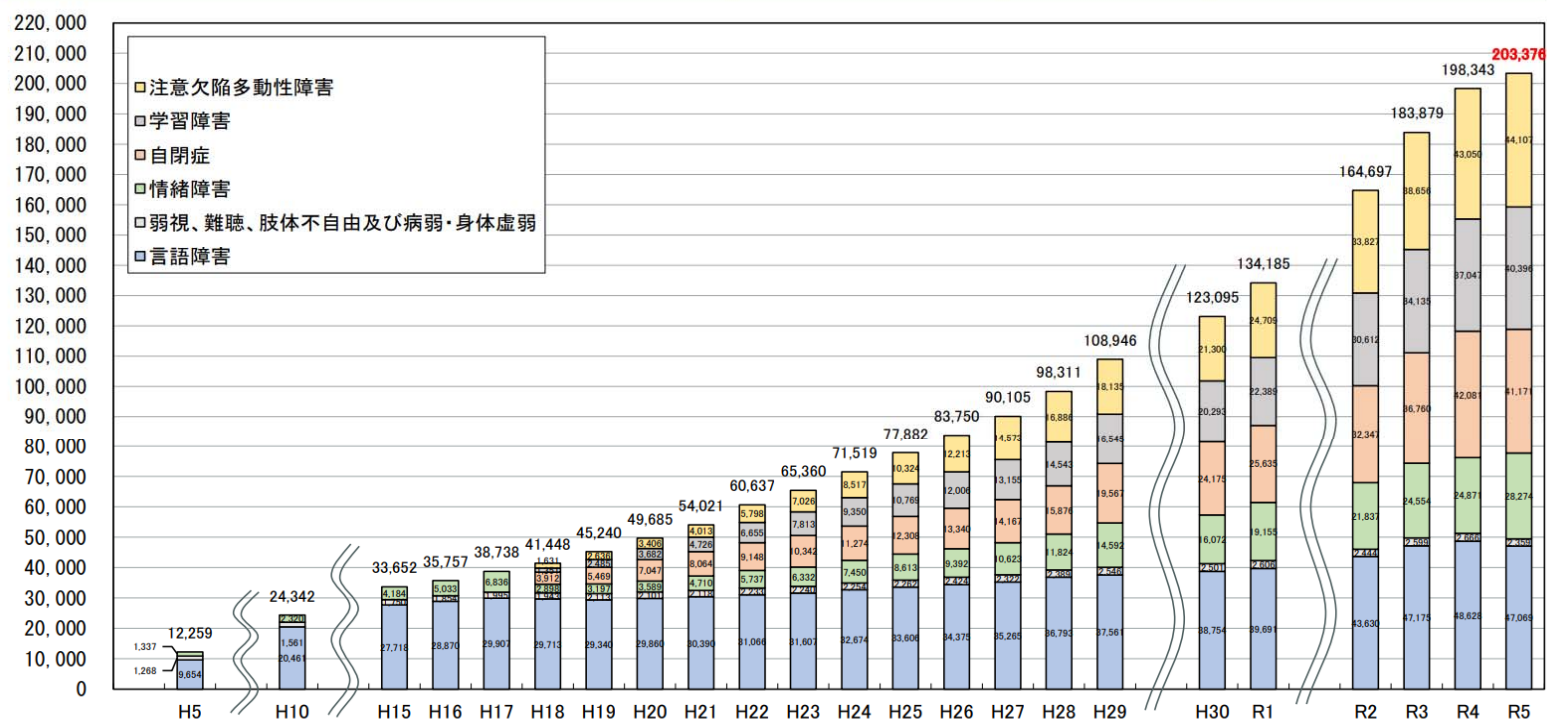
20人 3学級

1学級平均 6.67人

1学級の人数 ／障がい種	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人
知的学級	0	1	0	0	0	2	2	0
自・情学級	0	0	0	0	0	2	0	1



通級による指導を受けている児童生徒数の推移（障害種別）



（出典）通級による指導実施状況調査（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調べ）

※令和2年度～令和5年度の数値は、3月31日を基準とし、通年で通級による指導を実施した児童生徒数について調査。その他の年度の児童生徒数は年度5月1日現在。

※「注意欠陥多動性障害」及び「学習障害」は、平成18年度から通級による指導の対象として学校教育法施行規則に規定し、併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示（平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級による指導の対象として対応）。

※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。

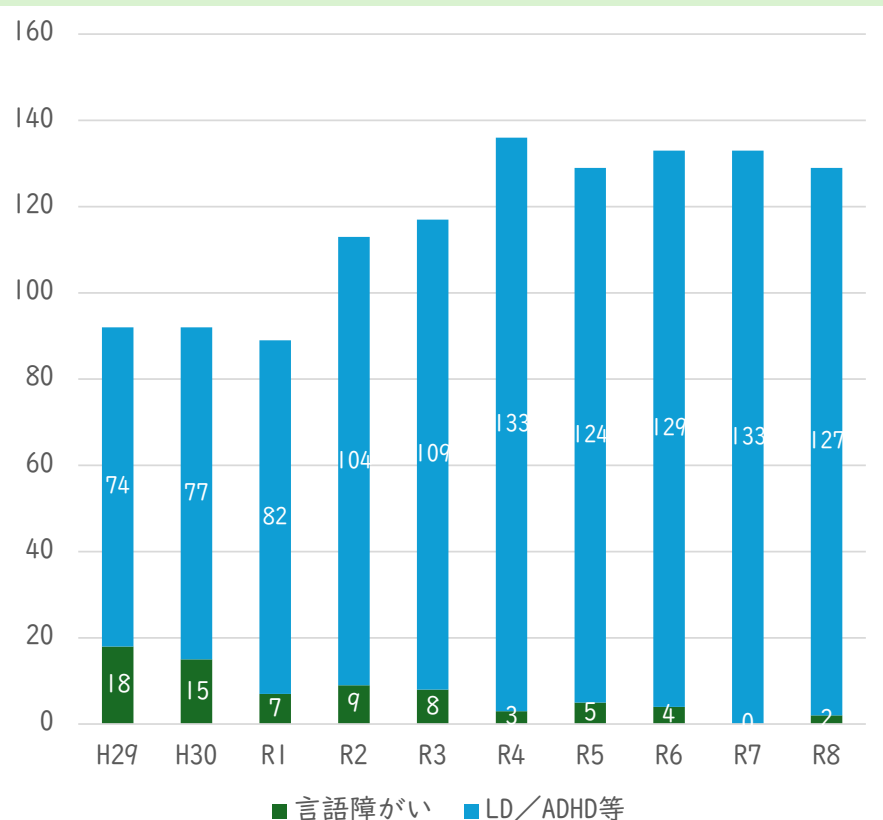
※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。

※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含める。

※令和4年度については、令和6年能登半島沖地震の影響を考慮して、石川県は国立学校のみ調査を実施し、公立・私立学校に関する調査は実施していない。

通級による指導を受けている児童数

小学校



【令和8年度】

○ 言語障がい

2人 1教室

1教室平均 2.0人

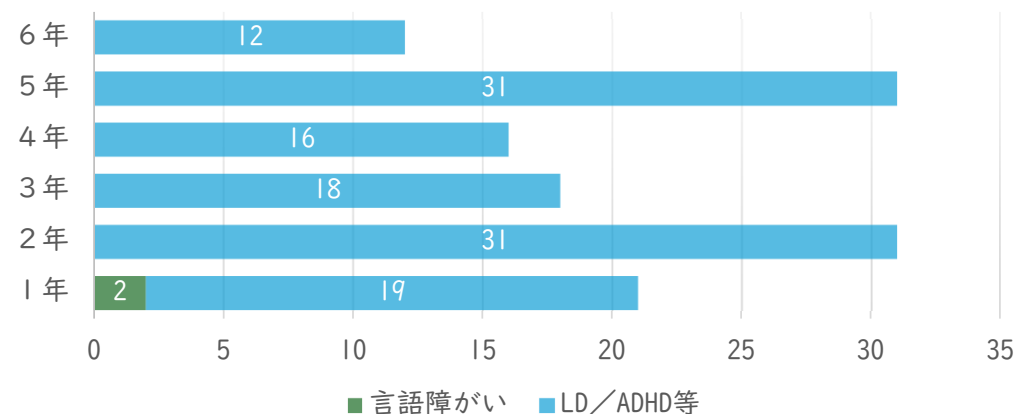
○ LD/ADHD等（発達障がい）

127人 11教室

1校平均 15.87人

設置校

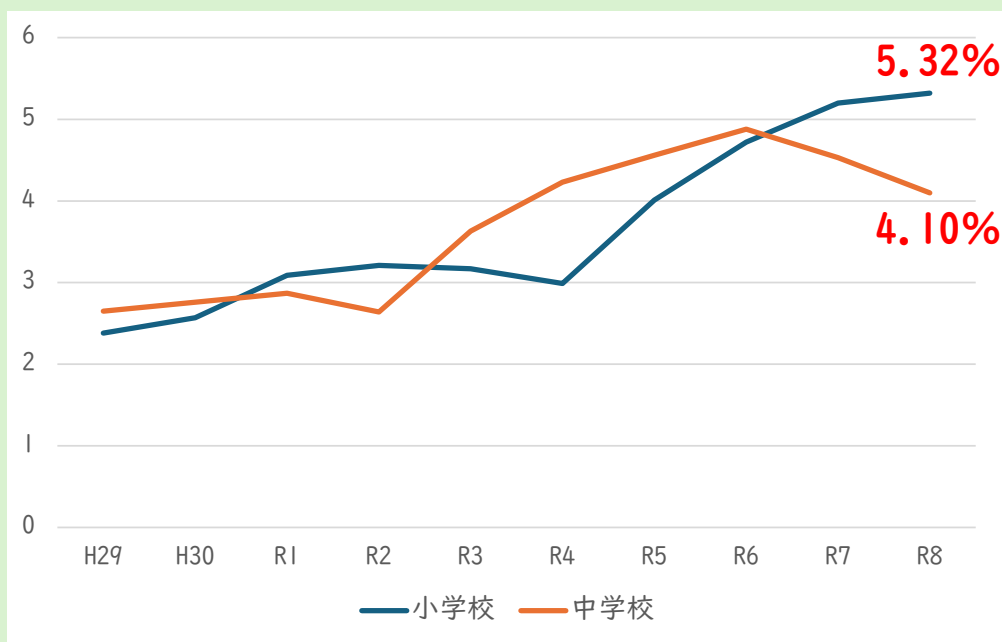
- ・ 言語障がい : 大井小（1校）
- ・ LD/ADHD等 : 武並小、長島小、大井小、大井第二小、三郷小、岩邑小、山岡小、明智小（8校）



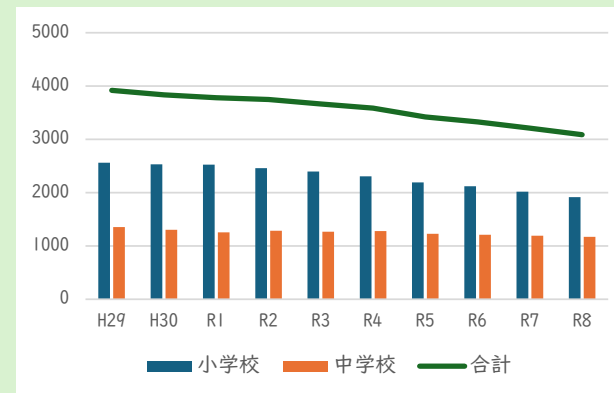
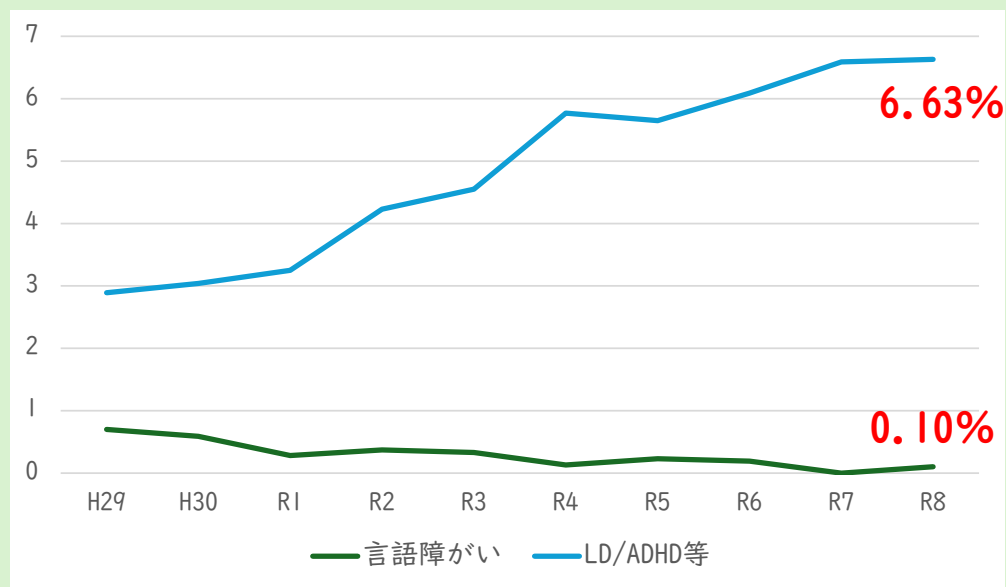
恵那市で特別支援教育を受けている児童生徒の割合の推移

【児童生徒数の推移】

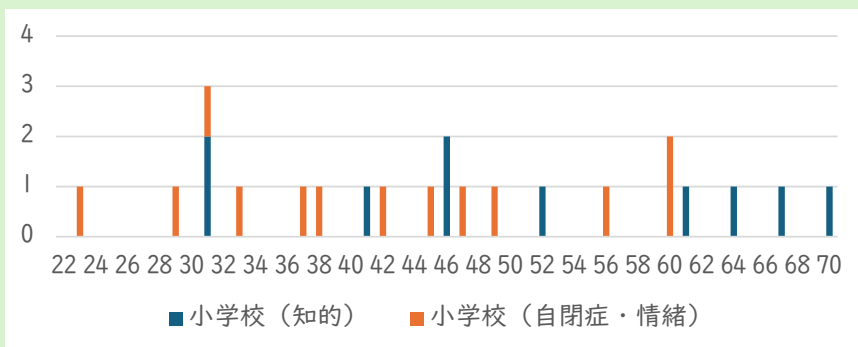
【特別支援学級】



【通級による指導】

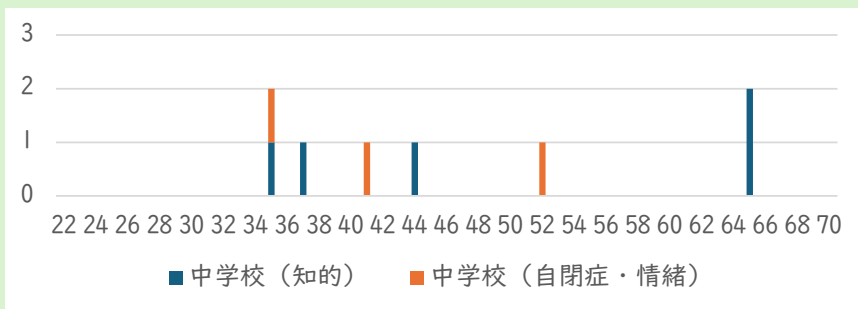


特別支援学級担任・通級指導教室担当の年齢や経験年数（令和8年度）



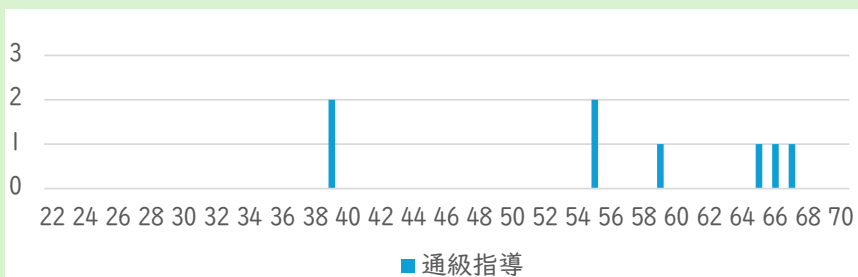
【小・特支学級】

平均 46.0 歳



【中・特支学級】

平均 46.8 歳



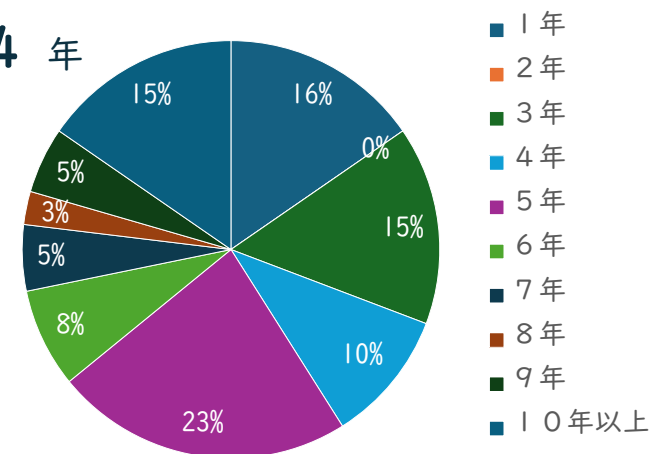
【通級】

平均 55.6 歳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年以上
小・特支	4	0	2	4	7	1	1	1	0	3
中・特支	1	0	2	0	2	1	1	0	0	1
通級	1	0	2	0	0	1	0	0	2	2

【特別支援教育担当の平均経験年数】

平均 5.64 年



恵那市の現状より

- ・ 特別支援学級在籍児童生徒数や通級による指導を受けている児童数は、10年前と比べ増加している。（年により差はある。高止まり…？）
- ・ 特別支援教育に携わる教員の中には、特別支援教育の指導経験の少ない者もいる。
- ・ 通級指導教室は、指導経験が豊かなベテランの先生に支えられている。

文部科学省の調査結果より

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」

令和4年12月13日

- ・ 通常の学級に在籍する学習面又は行動面で著しい困難がある子供の割合は、小・中学校で
推定値 8.8%

※平成24年の調査では 6.5%

文部科学省による施策等より

「特別支援教育を担う教師の養成、採用、研修等に係る方策について（通知）」

令和4年3月31日

- ・ 全ての新規採用教員が概ね10年目までの期間内において、特別支援学級の教師や、特別支援学校の教師を複数年経験することとなる状態を目指し、人事上の措置を講ずるよう努めること。合わせて、採用から10年以上経過した教師についても、特別支援教育に関する経験を組み込むよう努めること。

- 1 特別支援教育の現状
- 2 学校教育課で行っている取組**
- 3 関係機関等との連携
- 4 今後に向けて

令和8年度 学校教育課（教育研究所を含む）で行っている取組（予定も含む）

・学校支援訪問 **【新規】**

経験年数5年目までの特別支援学級及び通級指導教室担当者（講師含む）

→ 教科等の授業参観及び授業者との懇談、指導助言

経験年数3年目までの特別支援教育コーディネーター

→ 特別支援教育コーディネーターとの懇談、指導助言

・Know-Howハンドブック（特別支援教育編）の作成 **【新規】**

指導力向上委員会（嘱託所員会）で作成する予定

・「恵那市教育研究所だより」による情報発信 **【新規】**

・教員向けの研修会等の実施

特別支援教育コーディネーター研修会（年3回）

通級指導教室連絡会（年3回）

**先生方を
サポート**

教育・発達支援センター 教育・発達相談室「あおば」

対象年齢：0歳から18歳まで

- ・心理士や相談員による発達相談・教育相談（来所、電話）

- ・WISC-V、新版K式等の発達検査

- ・学校訪問支援

- ・定期相談会

 - 小児科医によるDr.相談会（年3回）

 - 作業療法士によるOT相談会（年2回）

 - 小児科医と作業療法士によるDr.& OT相談会（年1回）

 - 言語聴覚士によるST相談会（年6回）

- ・年長児の保護者向けの就学相談会

先生方を
サポート

保護者を
サポート

- 1 特別支援教育の現状
- 2 学校教育課で行っている取組
- 3 関係機関等との連携**
- 4 今後に向けて

関係機関等との連携

- ・ 幼児教育課による **こども園巡回相談**

5月～7月（5歳児）

9月～11月（3・4歳児）

- ・ 幼児教育課による **訪問療育相談会**

- ・ 健幸推進課による **5歳児健診**

- ・ 子育て支援課による **療育連絡会**

- ・ 子育て支援課による **自立支援協議会こども部会**

- ・ 教育・発達支援センター **教育相談室「はなのき教室・おつみ教室」**

- ・ 岐阜盲学校による **弱視通級、目に関する相談会**

**一人一人の
教育的ニーズに
応じた
切れ目のない
支援**

- 1 特別支援教育の現状
- 2 学校教育課で行っている取組
- 3 関係機関等との連携
- 4 今後に向けて

今後に向けて

- ・ **先生方や保護者をサポートするために…**
 - 適正な就学に向けての情報提供
 - 個別の教育支援計画・指導計画の作成及び効果的な利活用
 - 関係機関等との連携強化
- ・ **子供たちが自分らしく成長できる環境を整えるために…**
 - 通級指導教室設置校の計画的な拡充
 - 学習支援員の増員と適切な配置

子供たちの笑顔に寄り添うために、一歩ずつ…